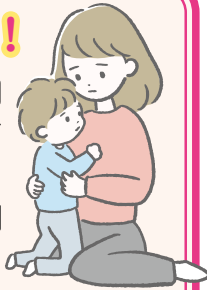


ひとりで悩まず、ご相談ください!

こども子育ての課題が複雑化しています。どこに相談したらよいかわからない、行政はどんな話を聞いてくれるのかわからない。そんな声を多く聞きます。

悩みを抱える子育て世代の皆様に寄り添った体制を整えてまいります。



♡ LINEを活用した「せんだいみやぎ 子ども・子育て相談」

仙台市と宮城県が連携して開設している、子育てについて気軽に相談できるLINE相談窓口です。 (QRコード▶)



♡ 「ヤングテレホン相談」(保護者の方もご相談可)

青少年(小学校高学年～おおむね20歳まで)の悩みや、その保護者の方の悩みを24時間365日、電話で相談に応じます。(フリーダイヤル) **0120-783-017**

♡ ひとり親家庭の相談窓口サイト「ポルクス(POLLUX)」

ひとり親家庭を支援する認定NPO法人(STORIA)が、仙台市の委託で運営している相談窓口です。 (QRコード▶)



♡ 「のびすくナビ」+スマホアプリ(子育てタウン)

仙台市の子育て応援情報サイトです。 (QRコード▶)



- ▶ 行政サービスやイベント情報を手軽にチェック!
- ▶ 仙台市からの大切なお知らせを受け取れるほか、いざという時の病院救急情報、相談先の確認など、子育ての心強いサポートツールです!

仙台市のデジタル化、大丈夫?!

中国共産党の党大会が最近のニュースにもなりましたが、アメリカでは、**人民日報は報道機関ではなく、中国共産党のプロパガンダ機関だと2020年に認定**され、その社員は国務省に報告するよう義務付けられています。また、オーストラリアなど**世界各国で、中国が経済進出にとどまらず、政治的に介入**している事例が増加しています。

せんだい自民党では、市政への影響や仙台市民の個人情報の保護、自治体のサイバーセキュリティや経済安全保障の観点から、皆様と情報を共有しつつ、この問題についても向かい合っていきたいと考えています。

菊地 崇良 (委員会質疑)

仙台市のデジタル推進をはかる市長補佐官として任命された人物が、**中国共産党の直轄・発信組織である人民日報の、所謂「日本版」に関係する理事長を務めている**とのこと。子ども医療費助成に係るシステムの構築にあたっては、事業者の選定が恣意的に行われたり、子どもたちと仙台市の情報が拡散されたり攻撃されることの無いよう、強く求める。(健康福祉協議会/令和4年4月21日)



齋藤 範夫 (委員会質疑)

人民日報日本版は、日本における**中国共産党のプロパガンダ紙ではないのか。**

また発行元の日本新華僑通信社は、日本に中国人を送り込む活動を行っている組織にも思える。**補佐官の任命は郡市長の意向**とのことだが、**議員に配布された経歴書にこうした事実が記載されていなかったのは何故か。意図的ではないのか。**D Xの推進にあたって、中国共産党と密接な関わりを持つ方がアドバイザーというのは、不安を抱く。(総務財政委員会/令和4年4月21日)



佐藤 正昭 (委員会質疑)

補佐官は、日本新華僑通信社の理事長であるとともに(中国との経済交流組織である)**日本深圳^{シンセン}経貿文化促進会の最高顧問でもある**。今何よりも大切な「情報」が漏洩などの危険にさらされている状況であり、**経済安全保障の観点からも見過ごすわけにはいかない**。今後デジタル化を進めていく上で市が独自性を発揮し、機器やソフトなどの選定においても偏った誘導が起きないように、しっかりと対応していただきたい。(経済環境委員会/令和4年4月21日)



田村 勝 (代表質疑)

中国は現在、政治、経済など様々な工作を通じて日本を自国の影響下に置こうとしており、このような状況にもかかわらず仙台市は、中国共産党のプロパガンダ紙である人民日報の名を冠した月刊誌の理事長を市長補佐官に起用した。これをきっかけに本市やスーパーシティ構想を通じて取り組む東北大学と、中国共産党の影響を受ける中国企業との関係が深まり、その結果**日本の技術や情報が流出する恐れもある**。そもそもこうした起用をするのであれば、まず議会承認を通さなければならないはずではないのか。**今回の起用は相当なリスクを抱えることになるが、市長はどのように考えるのか。**(令和4年第2回定例会/令和4年6月16日)



「人民日報」冠した組織の理事長 自民市議ら、中国寄り誘導警戒



仙台市の郡和子市長が市長補佐官に起用したIT事業会社のトップ、藤原洋氏(67)の兼務内容が市議会に波紋を広げている。**藤原氏が中国共産党機関紙「人民日報」の名を冠した月刊誌の理事長を務めているためだ。**月刊誌側は人民日報社とは別の組織が出版することから、中国共産党の指揮下にはないとしている。ただ、自民党市議らは市政が中国寄りに誘導されかねないと警戒している。

(令和4年4月23日/産経新聞 宮城版より)

菊地たかよし プロフィール

昭和43年 仙台市生まれ / 七郷小学校、蒲町中学校、仙台第一高等学校、東北学院大学(法学部)卒業
平成5年 陸上自衛隊入隊 / 平成22年 二等陸佐で退官 / 令和3年 東北大学大学院(公共政策)修了 /
平成23年～ 仙台市議会議員(現在三期目)

役職など(令和4年9月現在)

- 総務財政委員会 委員
- 防災減災推進調査特別委員会 委員
- 仙台市都市計画審議会 委員
- 仙台市議会会派・せんだい自民党 政調会長
- 仙台市拉致救出議連 幹事長
- 日タイ友好仙台市議会議員連盟 事務局長
- 仙台市私立幼稚園PTA連合会 副会長
- 防災士 など



公式HP



Facebook



編集・発行 / 菊地崇良事務所

〒984-0038 仙台市若林区伊在1丁目12-27
TEL 022-390-4105 / FAX 022-288-2342
Eメールアドレス: info@kiku-taka.jp